

小児救急看護 認定看護師

リソースナースとしての活動

【消防職員への研修】

今回、松山市消防局の消防職員に対し、講義依頼があり、研修を実施しました。救急要請で子どもの収容をする際、苦手意識が強いという意見があったため、まず、医師の講義を聴いてもらい、その後、救急隊員の方々に知ってほしいことを下記のテーマで研修をしました。

小児の症状と疾患について

依頼施設：松山市消防局
開催場所：東消防署
開催日時：2019年12月3日
研修時間：1時間
対象者：各署救急隊員40名
講師名：松山赤十字病院
小児救急看護認定看護師
佐々木 かおり



児童虐待について

依頼施設：松山市消防局
開催場所：西消防署
開催日時：2020年1月20日
研修時間：1時間
対象者：各署救急隊員48名
講師名：松山赤十字病院
小児救急看護認定看護師
阪田 千春



1回目は「小児の症状と疾患について」、見逃したらいけない症状を説明し、アナフィラキシーの際に使うエピペンを実際に見てもらいました。2回目は「児童虐待について」で、虐待の可能性がある現場に行った際お願いしたいこととして、〈家庭の様子の記録〉〈最初に家族が語ったことの記録〉〈救急隊からの児童相談所への通告〉を救急隊員の方に伝えました。

研修後の感想では「エピペンを見たことがなかったので実際に見られてよかった。」「虐待が身近にあることがわかり、子どもの安全を守るためにも、不自然さを見逃さないようにしていきたい」等がありました。

今回は他職種からの講義依頼でありましたが、子どもたちが安全に暮らせるよう、今後も地域の方に小児救急、虐待の知識を広めるために、リソースナースとして活動していきたいと思います。